

ID: 15

担当部署: 建設水道部 都市整備課 管理係

<b>処分の概要</b>	許可工作物の完成前の使用の承認		
<b>法令名 根拠条項</b>	河川法 第100条において準用する第30条第2項		
<b>法令番号</b>	昭和39年法律第167号		
<b>【基準】</b>	<p>法第30条第2項の規定による。 (許可工作物の使用制限)</p> <p>第30条</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、特別の事情があるときは、同項に規定する者は、当該工作物の工事の完成前においても、河川管理者の承認を受けて、当該工作物の一部を使用することができる。</p> <p>河川法における申請に対する処分に係る審査基準及び標準処理期間について(平成13年3月30日河第866号各土木事務所(支所)長あて河川課長通知)による。(埼玉県資料)</p> <p>10 第30条第2項(完成前の許可工作物の一部使用の承認)</p> <p>(1) 審査基準</p> <p>完成前の許可工作物の一部使用を承認するに当たっては、工作物の一部を使用することによってもその機能を発揮することが可能である場合において、その設置について工期が長いことにより全体の工事が完成するまで相当の年月を要し、かつ完成前の一使用に対する社会的要請が強い場合、又は工事の施行方法からみてやむを得ないものである場合に、以下に掲げる要件に該当するものについて承認することができる。</p> <p>ア 使用をしようとする部分について、第30条第1項の完成検査の例により検査を受け、検査に合格したものであること。</p> <p>イ 一部使用することによる河川管理上の支障が生じないよう必要な措置が講じられていること。</p> <p>ウ 一部使用しようとする目的が、工作物全体について受けた許可の目的に反しないこと。</p>		
<b>標準処理期間</b>	未設定(通知による。)		
<b>備考</b>			
<b>設定年月日</b>	平成28年7月1日	<b>最終変更年月日</b>	年 月 日